

令和7年度 学びの充実あと押し事業

「教師に教えてもらう授業」から「自分で学び取る授業」への転換

実践内容

「表現する楽しさ」を増やすための画像生成AIの活用法

SunShine 2 開隆堂 Our Project4 「海外でヒットするラーメンCMを作ろう」の実践より
 今回画像生成AIを使い、グループごと発表を行った。グループでCMの構想を練り、思ったことが画像生成されることで想像力豊かに活動に取り組み、英語で伝えようとする意欲につながった。またユニークな発想でCMが作れることから、「早く仲間に伝えたい、発表したい」「仲間のCMのアイディアを聞きたい」と思う生徒が多く、発表する意義を感じていた。頭の中のイメージを視覚化することで子どものアウトプット力が高まった。 **「Gorgeous Ramen のCMグループの画像」**



画像は、生成画像AIによって作成されたものであり、第三者の著作権や肖像権を侵害しないよう配慮しています。

プレゼンテーションの添削と練習

発表原稿の添削は時間がかかる。また原稿作成時には生徒の進度にばらつきがあり、添削をしてほしい生徒、または英作文の書き方に支援が必要な生徒など様々である。しかしWorld Classroomプレゼン課題の機能を使うことで、原稿添削と発音練習は生徒自身が行い、教師はその他の部分で支援が必要な生徒の指導に当たることができた。

Hello.

生徒原稿

what do you want to be the most
 I want to be pro sports player.
 company employee is
 youtube is as popular as Actors and entertainers
 There were fer pro sports player.

スピーキング練習ログ

生徒練習記録

最高スコア	平均スコア	平均WPM	練習回数
100点	22点	1語	17回

ライティングした英語をChatGPTで分析

「相手に分かりやすい説明をしよう(Sunshine 2年)」「日本のお菓子を海外に発信しよう(Sunshine 3年)」など教科書には様々な話題があり、伝える相手がとても大切である。しかし、活動の最後に学年のレベルに合わせて「プロンプト」を出し、ChatGPTを自分のライティングの確かめや分析フィードバックとして活用することができた。



プロンプト

I am a Japanese middle school student in English class. Using elementary English, guess what I am describing. (中2対象)

成果と課題

○生成AIの活用方法や場面によって、生徒が自分自身で学び取る「1つの学習方法」として有効である。

○プレゼンテーション原稿を英語で入力することに慣れるまでに2年ほどかかったが、現在は手書きで添削またはタブレット入力でAI添削、のどちらにするか、生徒が選択して練習方法などが選べる。

▲現在「学習の記録」→「生徒の学習の分析、フィードバック」→「弱点克服」のサイクルが確立していない。やりっぱなしではない学習方法の確立が必要。